

えひめけんりついのうぎょうこうとうがっこう せいにかつかがくかしよくもつはん
愛媛県立伊予農業高等学校 生活科学科食物班

～#伊予農福連携 & #地域食材PRプロジェクト～



ちいさなしあわせがみつかるカフェ



株式会社和光ワールドと連携

経緯

- 他校の閉校により、平成25年4月から伊予市で唯一の高等学校となった。
- そこで、「#伊予農福連携 & #地域食材PRプロジェクト」を展開し、農福連携や地域食材PRを通して、地域課題である共生社会の実現に尽力したいと考えた。

取組内容

- 伊予市内の福祉団体、ほっとネットいよしと連携し、高齢者や障害がある方と「ちいさなしあわせがみつかるカフェ」を開催。
- 農福連携を進めている株式会社和光ワールドと連携して、米・きくらげ・大豆を栽培し、商品・ランチメニューを企画。
- 愛媛県伊予市都市総合文化施設ウェルピア伊予とバイキングメニューの考案やウェルピア農園を管理。

活動の効果

- 学生が地域食材使用のスイーツを考案し、調理や盛り付けを行い、高齢者・障害者スタッフにカフェでの接客を担当してもらうことで、生き生きと仕事をもらう環境を生み出している。
- 青森県の八戸協和水産株式会社と農福連携商品の企画・製造を協議し、レトルト食品の販売が決定した。

応募団体からのアピール・メッセージ

伊予市は令和3年度から8年度までの6年間、伊予市第3次障がい者計画を策定しており、「共生社会の実現」を目標にしている。企業や地域の施設と連携を図りながら、農福連携と地域食材PR活動を通じた共生社会の実現に尽力し、地域課題の解決に努めている。

住所・電話番号・SNS等

伊予市下吾川1433 Tel:089-982-1255

とくていひえいりかつどうほうじん く ら ぶ
特定非営利活動法人 いりこ倶楽部

～四国中央市産「いりこ」で、街を元気に！～



福祉就労施設での製造の様子



いりこ酵母パン

経緯

- 四国中央市の活性化のため特産品である「いりこ」に注目し、地域の事業団体と連携した商品開発を行うこととした。
- 家庭の食卓から「いりこ離れ」が進んでおり地場産業である「いりこ」が再注目・活性化することを目指し活動することとした。

取組内容

- 「いりこ酵母パン」を新開発。
- 製造・販売は地元の福祉就労施設と連携し、障がい者の新たな雇用創出。
- いりこの水揚げから加工の現場にいたるまで各種関連施設を巡る、食べて・学べるツアーを開催。
- 親子向けに「いりこ飯をつくって食べる会」を実施。
- 地元の高校でいりこの特別授業を実施。

活動の効果

- 「いりこ酵母パン」を基点とし「いりこ」そのもののみならず、「新たな食べ方」を提案・情報発信することで、生活者にとってより身近で親しみやすいブランド化に寄与。
- 障がい者の新たな雇用創出にもつながる仕組みの構築に寄与。
- 街の産業振興と地域活性化に寄与。
- 地元高校での特別授業実施により次世代の地元産業の理解促進と地域振興に寄与。

応募団体からのアピール・メッセージ

今後は「いりこ酵母パン」を起点としながら、地元事業者とさらに連携を強化し、地域の活性化につとめていく。

住所・電話番号・SNS等

四国中央市川之江町2529-34 Tel:0896-56-7777

おくませかわそうせいかいぎ

奥松瀬川創生会議

～希望の田舎 奥松瀬川～



手芸部の商品の共同製作



ツリーハウスで音楽祭

経緯

- 中山間地にある一般的な農村であり、地域住民の高齢化に伴って「耕作放棄地の拡大」や「地域コミュニティ力の減退」等の課題を抱え、年々衰退するばかりであった。
- そこで、子育て世代が定住したくなる地域づくりを目指して活動することとした。

取組内容

- 交流拠点「ほっこり奥松」をオープンし、得意分野を持つ会員により教室を立上げた。
- 交流拠点の建設を皮切りに、平成28年度から「夏祭り」を復活。平成29年度には交流拠点にて「山の音楽会」を開催。令和元年度からツリーハウスを利用した「ツリーハウス音楽祭」に変化させ開催。令和2年度から動植物の調査及び子育て世代の交流のための「自然観察会」を開催。

活動の効果

- 交流拠点「ほっこり奥松」と交流農園「ぽんぽこ農園」を軸に交流人口及び関係人口が大きく拡大し、子育て世代の移住も継続的に実現している。
- 約1haの耕作放棄地がぽんぽこ農園の利用者によって解消される。
- 観光交流事業開始後、Uターンや移住者が増加し、平成28年度には4人まで減っていた乳幼児人口が令和5年度現在は12名となっており、子育て世代が増加している。

応募団体からのアピール・メッセージ

帰ってきたくなる故郷になるべく、観光交流事業に加えて主産業である農業や豊かな自然を活かした収益性のある産業を育て、地域で生きていける環境を整えていきたい。

住所・電話番号・SNS等

東温市松瀬川1876 Tel:050-1239-1606

もりた まさし
森田 将史

～人の繋がりが作る活力はとても力強い～



梨園



ドライ商品

経緯

- 奥松瀬川地区の地域おこし協力隊に着任し、任期中は観光交流事業に携わった。
- 退任後(令和元年度)に農業及びマネジメント業で起業。観光交流事業には集落支援員に着任することで継続的に関わりつつ、農業を中心とした地域活性化活動をスタートした。

取組内容

- 【観光交流事業】交流人口拡大を目指して交流拠点及び交流農園の建設・運営。
- 【梨園の事業継承】廃園予定になっていた梨園を継承。規格外の梨をドライフルーツとして商品化。
- 【地域の事務局】中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払交付金及び農山漁村振興交付金の各種事務手続きを請負い、地域住民と共に地域活性化事業を推進。

活動の効果

- 交流農園は、ネットを中心に利用者が増加し交流人口は年々増加おり、利用者の中から奥松瀬川地区へ移住・就農する人や半農半Xという形での就農する人が現れる。
- 廃棄となっていた梨をドライフルーツとして商品化し、食品ロスの削減を目指している。
- 地域住民と共に地域活性化事業の取組がきっかけで子育て世代が地域に戻ってきている。

応募団体からのアピール・メッセージ

集落支援員に任命され農村RMO、農林業の地域活性化事業に取り組み、水稻以外の特産品開発に取り組んでおり、過疎化した地域で粗放管理をし農地を維持しつつ、新しい地場産業を作っていきたい。

住所・電話番号・SNS等

東温市松瀬川1409 Tel:080-1437-9862

いっぱんしゃだんほうじん

ない

ぶ

一般社団法人ゆりラボ内ホップ部

～やった事ない事は面白い！広がるホップ栽培～



久万高原町のホップ畑



初回及び第二弾のクラフトビール

経緯

- 久万高原町には観光客が多く来るが、お土産の商品が少なく売り上げに繋がっていないと聞き、人を呼び商品購入のきっかけになる商品が欲しいと考えた。
- 地ビールが委託醸造できる事を知り、冷涼な高原の町でビール主原料のホップが育つ可能性を考え、令和3年に栽培実験を行った。

取組内容

- 令和3年、町で商業的に栽培実績のなかったホップ栽培を、農業ミッション担当の地域おこし協力隊員に依頼。
- 令和4年、町内農家から協力申出があり、3人の農家がホップ栽培を開始。
- 令和4年及び5年、町内の元酒蔵で使われていた酒米「フクヒカリ」と町内産ホップを100%使ったクラフトビールの製造を、松山市のクラフトビール醸造所に委託し、販売。

活動の効果

- 初回商品1,050本の瓶を1か月で売り切り、購入目的で町に来てくれた人もいた。
- 令和5年、第8回いよぎんビジネスプランコンテストでシード部門賞受賞。
- 活動が松山市の醸造家の目に留まり、町がホップの産地となるよう、安定供給できるまでの間、高価格で全量買い取りしてくれる事になった。
- 売り先があることでホップ栽培に興味を持つ人も現れ、計8人の農家がホップ栽培を行うことになった。

応募団体からのアピール・メッセージ

ホップの収穫体験の商品化を愛媛県観光物産協会や旅行会社と協力して目指している。いずれは、町で収穫体験をした後、道後で温泉に入り、当町産ホップで造られたビールを飲んで貰えるようになればと考えている。

住所・電話番号・SNS等

上浮穴郡久万高原町久万349-1 Tel:0892-27-4086



特別賞

あさひきょうはんかぶしきかいしゃ

朝日共販株式会社

～小さなしらすで地域を守る！～



しらす漁



藻場礁設置

経緯

○しらす事業は地域の重要な地場産業の一つでありながら、漁業従事者の高齢化や人手不足、後継者の担い手不足が深刻になっている。私たちはこの地域を守るため、この資源(イワシ稚魚)を活用し、地域の雇用の創出や活性化のための複合的な活動を行うこととした。

取組内容

- フェリー乗客の集客やイベント開催で、地元の一次産品を発信する地域活性化活動、大学生と共同し、しらすを有効活用した新商品開発の他、輸出拡大に向けた取組を実施。
- バイオプラスチックトレーへの切替えや地元漁協・ダイビングスクールと連携した藻場礁の設置実験等の環境保全活動、子どもたちへの食育活動を実施。

活動の効果

- 売上高は、約11億円(平成17年度)から約82億円(令和4年度)に増加。また、伊方町観光交流拠点施設等の集客数は、約3万人(令和元年度)から約25万人(令和4年度)に増加。
- 輸出額は、約300万円(令和3年度)から約900万円(令和4年度)に増加。

応募団体からのアピール・メッセージ

日本の片隅の、小さな漁村から、日本の漁業を変えようと思います。
もともと「漁師ってカッコいい」という若者もきっと増えると思うのです。
日本の片隅の、小さな漁村から世界に挑戦しようと思います。

住所・電話番号・SNS等

西宇和郡伊方町川之浜652-1 Tel:0894-53-0776

えひめけんりつみなみうわこうとうがっこう のうぎょうか かじゅせんこうはん

愛媛県立南宇和高等学校 農業科 果樹専攻班

～GAP×低樹高～未来につながる栽培を始める～



かんきつでは高校生初のGGAP認証を取得



せん定講習会を行い説明を受けている様子

経緯

- 平成30年4月、国際的な視野を持たせながら果樹栽培に取り組み、地元特産品の新たな可能性を生み出したいとの考えから、果樹専攻班を中心にかんきつでは高校生初のGGAP認証を取得。
- 低樹高栽培は、作業がしやすく、労力を著しく軽減する持続的な栽培環境を構築できるのではないかと考え、研究を開始。

取組内容

- GGAP認証を取得した年度から、GAPの基本的な考え方・実践を身に付けるため、全学年で行われる総合実習の時間でGAPの指導を本格的に開始。
- 樹の高樹高化による作業負担の増加という大きな課題に対し、低樹高化による作業効率の向上と果実の高品質化が可能な栽培法として、低樹高高品質栽培法を地域の農家へ普及する取組を行う。

活動の効果

- 農業科全体でGAP活動を実践することで、先輩方の活動が引き継がれ国際的な視野が高まるなかで、地域の後押しもあり輸出を考える声も出てきている。
- 低樹高栽培に適したせん定技術を取り入れた結果、生果として出荷した正品率は63%から70%以上となり、過去3年間で最も高い割合となり、果実の品質を向上させることができた。また、作業効率の向上と省力化につなげることができ、作業時間の大幅な短縮に成功した。

応募団体からのアピール・メッセージ

GGAP、低樹高栽培そしてドローンによる園地の状況把握の手法を地域に広げることが目標です。地域で後継者を育て、地域に足を運んでくれる人を増やし、持続的な河内晩柑栽培ができるよう、私達高校生が地域の未来をつないでいきたい。

住所・電話番号・SNS等

南宇和郡愛南町御荘平城3269 Tel:0895-72-1241

えひめけんりつみなみうわこうとうがっこう のうぎょう

愛媛県立南宇和高等学校 農業クラブ

～F(ファーム)F(フィッシュ)プロジェクト～



かんきつと魚のコラボ商品「愛南ゴールド真鯛」



ウルメイワシの缶詰「イワシンボル」

経緯

- 町内の農業従事者が減少し、生産量日本一を誇る愛南ゴールド(河内晩柑)も危機となり、なんとか解決していく方向はないかと検討し、オリンピックの食材提供基準であるGGAP認証取得に挑戦。
- 高齢化、若者の流出、農林水産業の衰退など、町の課題に対し高校生の力で解決する。

取組内容

- 令和元年、オリパラのホストタウンとしてGAP食材を使ったおもてなし企画をモザンビーク選手団に実施し、令和3年8月、愛南ゴールドをオリンピック選手村に提供。
- 本校GGAP愛南ゴールド(河内晩柑)とMEL認証の養殖真鯛がコラボし、「愛南ゴールド真鯛」を商品開発し、PR活動を行う。
- 広島県福山市の漬物業者とコラボし、養殖魚の餌となっているウルメイワシを使った缶詰「イワシンボル」を完成。

活動の効果

- 高齢化率46.5%と高齢化が進む町は、若者の流出、基幹産業である農水産業の衰退など課題は山積しているが、四国唯一の農業科として高校生が主体となってPR活動を行い、町に活力を与え、多くの人を動かしている。

応募団体からのアピール・メッセージ

「愛南ゴールド真鯛」や「イワシンボル」など、地域資源を使った自慢の商品で、今後は世界進出を目標に頑張ります。

住所・電話番号・SNS等

南宇和郡愛南町御荘平城3269 Tel:0895-72-1241

記念賞

えひめけんりつうわじますいさんこうとうがっこう

すいさんしよくひんけんきゅうぶ

応募

愛媛県立宇和島水産高等学校

水産食品研究部「フィッシュガール」

県産魚PR活動 ～フィッシュガールの挑戦～



現在活躍するフィッシュガール



監修した商品の対面販売

取組内容

- 産官学連携の下で女子生徒による養殖クロマグロの解体ショーや県産魚を利用した加工品開発、実演販売を通じ、愛媛県で養殖された魚(愛育フィッシュ)をPR。
- 校内での商品製造に加え、地域の協力企業が製造販売する商品を開発(監修)。
- 実習製品の海外輸出。

前回選定後の情報発信の取組

- 活動報告や、解体ショーの宣伝などをSNSに投稿。投稿件数は、令和元年度46件、令和2年度0件、令和3年度4件、令和4年度40件、令和5年度23件。
- Instagramフォロワー登録者数は約500人(令和5年12月18日時点)。
- 「Eテレ 沼にハマってきいてみた」、「NHK 発見!くらべる学校百景」、NHK松山放送局「ハイスクールめぐり」出演、ほか、ニュース番組等に多数出演。

前回選定後に発展させた取組及び成果

- マグロの解体ショーは、コロナ禍による実施件数の低迷から回復し、今年度はより多くの実施を見込んでいる。また、これまでの女子生徒による実施に加え、本年度は男子生徒の希望者もあり、現在準備中。
- 製品の開発、販売は、前回応募時までは校内製造製品の開発が主であったが、コロナ禍を転機に地域の協力企業によって製造、販売される商品の開発(監修)を行い、国内外で販売活動を実施。

応募団体からのアピール・メッセージ

地域の良さや地域の産業に愛着を持つ若者を育て、育った若者が、地域の担い手になるという良い構図が確実に生まれつつあります。これからも地域に誇りや愛着を持つ若者の育成を図り、地域に貢献できる人材が生まれることを目指します。

住所・電話番号・SNS等

宇和島市明倫町1-2-20 Tel:0895-22-6575

記念賞
応募

えひめけんりつみさきこうとうがっこう

愛媛県立三崎高等学校

～四国最西端から最先端の活動を！～



3代目みさこうCafe



みさこう！のさあいこー！なマーマレード

取組内容

- 高校生が主体となる地域の魅力開発及び発信により、伊方町の関係人口の増加と移住・定住者数の確保に貢献。
- 全校生徒をPR、カフェ、商品開発、ツアー、アート、防災の6つのグループに分け探究活動を実施。

前回選定後の情報発信の取組

- Facebookによる情報発信に取り組み、令和3年年12月の1,000名のフォロワーから、現在は約1,400名のフォロワーを獲得。
- さらなる情報発信を目指し、令和4年9月にInstagramで公式アカウントを開設し、現在約520名のフォロワーを獲得。
- Instagramでは写真を中心とした即時的な情報を、Facebookでは写真に加えて動画も活用して量の多い情報を発信。

前回選定後に発展させた取組及び成果

- みさこうcafeは、レストランでの通常営業に加え、交通の便が悪く来店が難しい地域住民のために出張営業を行ったり、地域イベントに出店したりすることで、多くの人に利用されている。また、地域の方々との交流の機会が増えたことにより、「みさこう郷土芸能」のような「café×○○」という新たな地域づくりの形が生まれてきている。
- 本校が世界マーマレードアワードで金賞を受賞したレシピを基に、地元企業と連携して「みさこう！のさあいこー！なマーマレード」という名前で商品化し販売中。

応募団体からのアピール・メッセージ

温故知新。これまでも地域にあった宝に高校生ならではの新たなアイデアで光を当てることで、この町にしかない新たな宝が生まれている。今後も地域の宝を、地域という宝を輝かせられる活動を続けたい。

住所・電話番号・SNS等

西宇和郡伊方町三崎511 Tel:0894-54-0550